

## 第37期第4回理事会議事録

日 時：2013年4月10日（水）13時30分～18時30分

会 場：日本気象学会事務室（気象庁8階）

出席理事：新野，藤谷，岩崎，経田，佐藤（正）（議題9からの出席），塩谷，田中，徳廣，  
中島，藤部，余田，以上11名

Web会議システムを通じた出席理事：里村，長谷部（議題4から途中退席），以上2名（理事  
現在数20名）

出席監事：岡本，高谷，以上2名

その他の出席者：田沢，下道，渡辺（事務局）

### 議 題

議事に先立ち，新野理事長より社団法人日本気象学会が4月1日付で公益社団法人日本気象学会となったことが報告され，移行に携わった方々に対する感謝の意が表明された。

#### 1. 理事会運営要領と公益社団法人移行に伴う経過措置に関する規程について

Web会議システムを通じた参加を認める理事会運営要領と旧法人の有する規程等の運用に係わる経過措置に関する規程の制定が藤谷理事より提起され，全会一致で承認された。

#### 2. 第37期第8回常任理事会議事録の確認

#### 3. 第37期第3回理事会議事録の確認

#### 4. 会員の新規加入等について

新入会員10，退会21を全会一致で承認。2013年4月9日現在，会員数3,646名で個人会員は3,389名。また，「天気」掲載の新入会員の種別区分の見直しを了解した。

#### 5. 総会議案について

議案1「2012年度事業報告」，議案2「2012年度決算報告」，議案3「2012年度監査報告」，議案4「理事の解任及び後任理事の選任」について検討を行い，事業報告内容の一部修正のうえ全会一致で承認した。また，総会時に席上配布する資料の内容について議論した。

#### 6. 細則の変更について

賞の新設、委員会の再編等に伴う細則の変更案が示され，承認した。

#### 7. 規程類の整備計画について

公益法人移行に伴い整備する必要のある規程類について、新たに制定する規程の案、あるいは現行規程の改正案が藤谷理事より示され，承認した。改廃手続きが委員会にあるものについては、委員会に改正案を提示、また、現時点で規程として定められていない指針等について，関係する各委員会へ原案を提示して検討を依頼することとなった。

#### 8. 理事の任務分担の変更について

標記について，全会一致で承認した。

#### 9. 各委員会からの報告

庶務…

1) 転載許可

①申請者：山岸米二郎

転載元：気象研究ノート 183 (1995) 図 8.3 (c) 永田雅著、やませと数値予報

転載先：山岸 米二郎著「気団と日本の季節変化」 雑誌「理科教室」科学教育研究  
協議会編集

②申請者：松本直幸

転載元：Fig2b、Hirota T, Iwata Y, Hayashi Y, Suzuki S, Hamasaki T, Sameshima R  
and Takayabu I (2006) ,Decreasing soil-frost depth and its relation to  
climate change in Tokachi, Hokkaido, Japan. J. Meteor. Soc. Japan 84:  
821-833.

転載先：「雪腐病」松本直幸著 北海道大学出版会発行

③申請者：ベレ出版

転載元：Yoshimura, K. , T. Oki, N. Ohte, and S. Kanae, Colored moisture analysis  
estimates of variations in 1998 Asian monsoon water sources, J. Meteor.  
Soc. Japan, 82, 1315-1329, 2004.

Yoahizaki, M. , T. Kato, Y. Tanaka, H. Takayama, Y. Shoji, H. Seko, K.  
Arao, K. Manabe and Members of X-BAIU-98 Observation Group, 2000 :  
Analytical and numerical study of the 26 June 1998 orographic rainband  
observed in western Kyushu, Japan. J. Meteor. Soc. Japan, 78, 835-856

転載先：「天気と気象について 分かっていること いないこと」筆保弘徳、芳村圭編  
集、ベレ出版発行

④申請者：気象庁

転載元：第 4 図, 第 5 図, 中村尚, 2003: オホーツクの冷たい海と大気循環変動. 天気,  
50, 516-526.

第 2 表, 第 5, 6, 7, 12 図, 遠藤洋和, 原田やよい, 2008: マッデン・ジュリア  
ン振動と冬期の日本の天候および循環場との関係, 天気, 55, 27-40.

図 2.1, 木本昌秀, 渡部雅浩, 2004: 北極振動の中立モード理論. 気象研究ノ  
ート, 206 号, 11-22.

Fig.18, Nitta,T., 1987: Convective activities in the tropical western  
Pacific and their impact on the Northern Hemisphere summer circulation.  
J. Meteor. Soc. Japan, 65, 373-390.

Fig.5, Nakazawa, T., 1988: Tropical super clusters within intraseasonal  
variations over the western Pacific.J. Meteor. Soc. Japan., 66, 823-  
839.

転載先：平成 24 年度季節予報研修テキスト「季節予報作業指針」、気象庁地球環境・  
海洋部

2) 後援名義等使用依頼受付

①名称：シンポジウム「科学・公益・社会—情報発信のあり方を考える—」

主催：日本学術会議

期日：2013年6月21日

場所：日本学術会議講堂

名義：共催

②名称：日本流体力学会 年会 2013

主催：(社)日本流体力学会

期日：2013年9月12日～14日

場所：東京農工大学小金井キャンパス

名義：協賛

③名称：第2回環境放射能除染学会研究発表会

主催：環境放射能除染学会

期日：2013年6月5日～7日

場所：タワーホール船堀

名義：後援

3) 公益社団法人化に伴うホームページ等の見直し内容の検討状況が報告された。今後の見直しについて議論した。

会計…2013年3月分の収支及び現預金検査報告。

天気…Vol. 60 No. 4 (2013年4月号) の掲載記事と、Vol. 60 No. 5, 6 (2013年5, 6月号) の予定記事の報告。

・「天気」の記事の著作権委譲手続きの検討状況が報告された。

・「天気」の印刷数を配布実績に基づいて3950部から3800部に変更することが報告された。

気象集誌…気象集誌の印刷数を配布実績に基づいて950部から850部に変更することが報告された。

SOLA…投稿論文の処理についての報告。

・効果の小さかった業者による英文校正を昨年度末で終了したことが報告された。

企画調整…今期評議員会の開催について、今後の工程等が報告された。

学術…報告書「日本の気象学の現状と展望」の進捗についての報告。会員からの意見募集は5月以降に予定。

・数値モデルに関する検討部会の立ち上げについての報告。

・日本学術会議主催のシンポジウム「科学・公益・社会—情報発信のあり方を考える—」についての報告。開催日は6/21、岩崎理事が講演予定。

教育と普及…公開気象講演会および夏季大学の準備状況についての報告。

表彰関係…日本学術振興会育志賞の候補者推薦募集についての報告。

・昨年度の推薦と受賞の実績についての報告。

国際学術交流…第6回日本・中国・韓国気象学会共催国際会議（10/24, 25に中国南京にて中国気象学会主催で開催）の準備状況に関する報告.

・第3回IFMS(International Forum of Meteorological Societies)が9/12, 13に英国レディング大学で開催されることが報告された. 参加に向けた検討を行った

電子情報…公益社団法人化に伴うホームページの変更と見直しの進捗についての報告.

#### 10. 内閣府宇宙戦略室訪問

「平成25年度宇宙開発利用に関する戦略的予算配分方針のフォローアップ(案)」に関する日本地球惑星科学連合の意見について、中島理事より宇宙戦略室との合意のもとに作られた議事録をもとに報告があった。学会のヒアリング内容も議事録として残すことを確認した。

#### 11. その他

4/5, 6に行われたマスタープラン「学術大型研究計画」のヒアリングについての報告があった。

平成25年5月15日

公益社団法人日本気象学会

理事長 新野 宏

監 事 岡本 幸三

監 事 高谷康太郎